

# 平成 30 年度事業報告書

## 事業内容

1. 世界の各時代の衣服、装身具及び関連する文献、資料等の収集、保存、及び公開  
(デジタル・データを含む)

### (1) 収 集

- 1) 研究・公開に必要な衣服、装身具等の収集

寄贈：82 点

・バニー・ロジャース旧蔵品 WATSON, FAGERSTROM & HUGHES  
メンズ・スーツ 1974 年 5 月、他 34 点／株式会社ジョイックスコー  
ポレーションより

・ドリス・ヴァン・ノッテン セット 2015 年秋冬、12 点／DRIES  
VAN NOTEN より

・アズディン・アライア ドレス 1986 年春夏、他 5 点／宋明美氏  
より

その他

購入：40 点

・男性用ジャケット 1885 年頃

・エドワード・モリヌー コート 1945-46 年頃

・ジョン・ガリアーノ／クリスチャン・ディオール セット 2000  
年春夏

その他

購入金額 28,512,810 円

〈累計点数〉13,201 点

(衣服類5,684点、下着類2,317点、アクセサリ類4,137点、その他1,063点)

- 2) 図書・文献・版画等、服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

寄贈：46 点

購入：33 点

購入金額 1,464,677 円

〈累計点数〉17,589 点

(2) 保 存・修 復

- 1) 収蔵庫内環境の安定的維持
  - ・中性紙ボードによる箱の製作 26 箱
- 2) 新規収集品、展示収蔵品のコンディション記録、及び防虫・防黴対策
  - ・脱酸素処理 58 点  
新収蔵品 46 点、貸出品 11 点、収蔵庫収納作品 1 点
  - ・目視、バキュームによる処理 153 点  
新収蔵品 49 点、KCI ギャラリー出展品 85 点、他館貸出品 19 点
  - ・ドライクリーニング 新収蔵品 73 点
- 3) 収蔵品の補修
  - ・18 世紀～現代の衣装 11 点
- 4) 収蔵品の記録用写真撮影
  - ・新収蔵品 112 点
  - ・収蔵品撮り直し 15 点
  - ・写真家による撮影 73 点

(3) 公 開

- 1) 「Kimono Refashioned」米国巡回展の開催  
[ニューアーク会場]  
会場：ニューアーク美術館 (Newark Museum)  
会期：2018 年 10 月 12 日 (金) ～2019 年 1 月 6 日 (日)  
主催：サンフランシスコ・アジア美術館、ニューアーク美術館、公益財団  
法人京都服飾文化研究財団  
入場者：13,457 人  
  
[サンフランシスコ会場]  
会場：サンフランシスコ・アジア美術館 (Asian Art Museum, San Francisco)  
会期：2019 年 2 月 8 日 (金) ～5 月 5 日 (日)  
主催：サンフランシスコ・アジア美術館、公益財団法人京都服飾文化研究  
財団  
  
展示：衣装 (着物含む) 60～70 点 (うち KCI 所蔵 約 55 点)  
絵画、工芸品等 約 10 点

- 2) メトロポリタン美術館「Visitors to Versailles (1682-1789)」展への出展協力  
会場：メトロポリタン美術館  
会期：2018年4月7日（土）～7月29日（日）  
主催：メトロポリタン美術館  
貸出：18世紀のローブ・ア・ラ・フランセーズ 1点  
入場者：227,271人
- 3) 岐阜市歴史博物館「竹の造形、和紙の彩」展への出展協力  
会場：岐阜市歴史博物館  
会期：2018年7月28日（木）～9月9日（月）  
主催：岐阜市歴史博物館  
貸出：室内着、輸出品和傘、他 計2点  
入場者：4,792人
- 4) 福井市郷土歴史博物館「皇室と越前松平家の名宝－明治美術のきらめき」  
展への出展協力  
会場：福井市郷土歴史博物館  
会期：2018年9月22日（木）～11月4日（月）  
主催：福井市郷土歴史博物館  
貸出：洋装ドレス、錦絵、他 計3点  
入場者：11,530人
- 5) 東京都庭園美術館「岡上淑子」展への出展協力  
会場：東京都庭園美術館  
会期：2019年1月26日（土）～4月7日（日）  
主催：東京都庭園美術館  
貸出：バレンシアガ、クリスチャン・ディオールのドレス 計4点  
入場者：40,776人
- 6) ワコールスタディーホール京都での収蔵品紹介  
会場：ワコールスタディーホール京都
- ① 期間：2018年2月1日（木）～5月31日（木）  
貸出：書籍『婦人グラフ』
- ② 期間：2018年8月2日（木）～10月31日（水）  
貸出：書籍『西洋衣食住』
- ③ 期間：2019年2月5日（火）～2019年4月26日（金）  
貸出：書籍『西洋衣食住』

- 7) **KCI** ギャラリーにおける収蔵品紹介
- ① 期間：2018年1月29日（月）～4月27日（金）  
 展示：収蔵品紹介 **XXVI**：プレタポルテの幕開け—久田尚子氏のワードローブを中心に  
 入場者：433名
  - ② 期間：2018年5月28日（月）～8月17日（金）  
 展示：収蔵品紹介 **XXVII**：優雅な生活——18世紀ヨーロッパ貴族の装い  
 入場者：295名
  - ③ 期間：2018年9月25日（火）～12月21日（金）  
 展示：収蔵品紹介 **XXVIII**：なんとなくスーツ。：「型」と遊ぶ  
 入場者：396名
  - ④ 期間：2019年1月28日（月）～7月12日（金）  
 展示：収蔵品紹介 **XXIX**：服の向こうに見える世界——〈アート〉の軌跡  
 入場者：224名（2019年3月末時点）

8) デジタル・アーカイブスの整備と公開

- ① **KCI** ホームページ内デジタル・アーカイブスの収録作品の増補
- ② **KCI** スタディ・ルームでの衣装収蔵品データ・ベースの公開
- ③ 一般公開型デジタル・アーカイブス「**KCI Fashion Archives**」（スパイラルにて設置）の公開
- ④ **Google Cultural Institute** への収蔵品情報提供及び **WEB** 公開

2. 収集品・資料に基づく衣服及び衣服と諸分野の関連についての調査・研究

(1) **KCI** 収蔵品及び現代ファッションの調査・研究。

- 1) 次期特別展に関する調査  
 2019年8月より京都国立近代美術館にて開催する特別企画展「ドレス・コード?——着る人たちのゲーム」の出品等の調査
- 2) ファッションにおける日本の影響に関する調査  
 2018年の米国巡回展「**Kimono Refashioned**」出品品調査とその発展的研究

3. 収集品・資料の保存、公開に関する技術的研究と実践、及び施設の設備運営管理

- (1) 戦後日本社会の着物産業に関する社会学的研究（科学研究費助成事業）  
 助成：科研費基盤研究（若手研究）（平成30-33年度）  
 テーマ：「戦後日本社会における和服の歴史社会学的研究」

研究者：小形道正

内容：終戦後から現在までの日本社会における着物との関わりについて析出するとともに、その変化から人間と衣服の理論的な関係性について問い直す。

(2) 黒染め染織品の保存修復（科学研究費助成事業）

助成：科研費基盤研究（若手研究）（平成 30-33 年度）

テーマ：「黒染め染織文化財に対する脱酸化・抗酸化・強化処置法の開発」

研究者：佐藤萌

内容：タンニン酸と鉄媒染で染色された黒染め染織文化財の劣化を緩和させる保存修復処置方法の検討を行う。

(3) 服飾文化財に用いられたプラスチックの調査研究（笹川科学研究助成事業）

助成：公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成 実践研究部門（平成 30 年度）

テーマ：「服飾文化財に用いられたプラスチックの同定および劣化状態の把握とその最適な収蔵方法の提案」

研究者：佐藤萌

内容：硝酸セルロースや酢酸アセテート等のプラスチック作品を分析・同定し、収蔵方法の改善を行う。

(4) 18 世紀英国のテキスタイル産業に関するデザイン史的研究（松下幸之助記念財団研究助成）

助成：松下幸之助記念財団研究助成（平成 30-31 年度）

テーマ：「近代イギリスにおける技芸（art）と奢侈——織物に表れる植物文様を手がかりに」

研究者：松坂雅子

内容：18 世紀イギリスの織物を対象に図案の推移を調査する。これにより、美学・科学の知性界と消費者側の嗜好・流行とはどのように交錯しつつ消費社会が発展したのかを明らかにする。

(5) 収集品の写真類、及び資料のデジタル・データ化とその保管の推進

1) 35mm スライドのデジタル・データ化 627 カット

(6) 収蔵庫の温湿度管理、及び設備管理

収蔵庫内の温湿度その他変化を常時監視し、所定の保存条件を維持するための管理を行う。

(7) KCI ギャラリーの設備・展示什器の整備

収蔵品展示のため、展示台、紹介パネル等を制作。

- (8) 中長期事業計画立案に資する設備運営管理方法の調査・研究  
範例となる国内外の美術館・博物館の施設の調査
  - (9) 国内外の展覧会出展品のコンディションチェック
  - (10) マネキン製作（新素材 Fosshape）1680年頃のホルセットの為のマネキン1体、  
米国展の為のブーツサンダル用の脚1対
4. 衣服文化に関する解説書、目録、及び研究報告書等の作成、及び頒布
- (1) 収蔵品目録、解説書、研究誌作成のための収蔵品写真撮影
    - 1) 写真家畠山崇氏による写真撮影
 

2018年12月17日（月）～19日（水）	29点
2019年2月5日（火）～7日（木）	34点
  - (2) 学術研究誌への研究論考投稿、専門紙誌、一般紙誌への服飾関連論考の寄稿
    - 1) 筒井直子「Chisato Tsumori's sense of "being herself" and Kawaii culture」  
『Tsumori Chisato』津森千里著、西谷真理子、河西香奈編 Rizzoli 2018  
年 194-195頁、218頁
    - 2) 小形道正「生活着の着物と衣服を作ること——終戦から1950年代（下）」  
『Fashion Talks...』8号 京都服飾文化研究財団 2018年 38-45頁
    - 3) Moe Sato, Anita Quye, Detergency evaluation of non-ionic surfactant Dehypon®  
LS54 for textile conservation wet cleaning, Journal of the Institute of  
Conservation, Vol.42 (1), 2019. (査読有)
  - (3) 研究誌『Fashion Talks...』7号（春季）、8号（秋季）発行、及び『ドレスタ  
ディ』掲載の論考のKCIホームページ上での公開
  - (4) 広報誌『服をめぐる』10号（7月）、11号（11月）、12号（3月）発行、及  
びバックナンバーのKCIホームページ上での公開
  - (5) 米国巡回展「Kimono Refashioned」カタログへの論考、および作品解説等執筆  
\* 深井晃子名誉キュレーター 「The Kimono Meets the West」  
新居理絵「Why an exhibition on Kimono Refashioned?」  
\* 米国ブックアワード「2019 Independent Publisher Book Awards」 「Fine Art  
category」にて銅賞受賞。

5. 衣服文化に関する講演会、研究会等の主催、及び学校、企業等と連携して行う社会教育及び専門家の育成

(1) 大学等における服飾史等の講義

- 1) 京都女子大学 「生活造形学特別講義 B」 (後期集中講義 5回) 石関亮
- 2) 神戸大学 「ファッション文化論」 (特別講義 1回) 筒井直子
- 3) 日本女子大学「衣服文化演習Ⅱ A」「西洋服飾史Ⅱ」 (特別講義 各1回) 筒井直子
- 4) フェリス女学院大学「19世紀の下着の歴史と KCI の活動について」 (特別講義 1回) 筒井直子
- 5) お茶の水女子大学「服飾文化概論」 (特別講義 1回) 筒井直子
- 6) 神戸大学 「ファッション文化論演習」 (ゲストスピーカー 1回) 小形道正
- 7) 神戸学院大学 「アジア・アフリカの社会と文化Ⅰ」 (前期学期 全15回) 小形道正
- 8) 神戸学院大学 「社会と文化研究」 (後期学期 全15回) 小形道正
- 9) 茨城大学 「西洋経済史」 (前期集中講義 全15回) 松坂雅子

(2) シンポジウム・講演・研究会等への参加

- 1) 2018年度京都学講座「京都で生まれましてん～みやこ発祥の文化～」  
第3回講座「ブラジャーと京都～伝統文化が息づく千年の都から、下着を通して根付いた洋装文化～」  
講演者：石関亮、ほか外部講師1名  
日時：2018年6月23日  
会場：キャンパスプラザ京都  
主催：公益財団法人大学コンソーシアム京都
- 2) 平成30年度文化庁京都移転の機運を醸成するための連続講座「プロフェッショナルに聞く！～文化庁移転と文化芸術の未来～」  
第7回講座「ファッションー暮らしが育む装いの文化ー」

発表者：石関亮、ほか外部講師 1 名  
日時：2018 年 12 月 3 日  
会場：mumokuteki ホール  
主催：京都市

- 3) ワコールスタディホール京都ギャラリートーク「神楽岡久美個展 身体と世界の対話 vol. 2」  
登壇者：神楽岡久美（アーティスト）、石関亮  
日時：2019 年 1 月 19 日  
会場：ワコールスタディホール京都
  
- 4) ファッション文化研究会第 3 回研究例会「ファッションと異国—シャネルを紐解く」  
発表題目：「シャネル作品のなかのエトランジェー—kitmir 工房との関連をめぐって」  
講演者：筒井直子  
日時：2018 年 10 月 6 日  
会場：日本女子大学  
主催：ファッション文化研究会
  
- 5) 講演題目：「KCI の活動および 19 世紀ファッションとコルセット」  
講演者：筒井直子  
日時：2018 年 11 月 19 日  
会場：長野県立長野実業高等学校  
主催：長野県立長野実業高等学校
  
- 6) Korean Society for Social Theory and The Society for Sociological Theory in Japan Joint Session  
発表題目：「Kimono and Japanese society from after World War II to the present: Theory of the relationship between humans and clothes」  
講演者：小形道正  
日時：2018 年 8 月 24 日  
会場：Kookmin University (ソウル)
  
- 7) 文化財保存修復学会第 40 回大会  
ポスター発表題目：「Fosshape を使用したマネキン製作と服飾文化財の展示」  
発表者：佐藤萌、友成久実子、梅野史子  
日時：2018 年 6 月 16 日  
会場：高知市文化プラザかるぽーと

- 8) 第6回 繊維・高分子の染色・機能加工に関する国際会議 ISDF2018  
 ポスター発表題目：「An Experimental Evaluation of Stabilization and Consolidation Treatment for Black Dyed Textiles」  
 発表者：Moe Sato（共同研究者：Rikako Oishi、Takahiro Uesaka、Satoko Okubayashi）  
 日時：2018年11月12日  
 会場：愛知県産業労働センター
- 9) 政治経済学・経済史研究会 博士論文報告研究会  
 発表題目：「近代イギリスにおける技芸（art）の振興：「デザインの技術」教育の展開過程」  
 発表者：松坂雅子  
 日時：2018年6月23日  
 会場：東京大学（本郷キャンパス）
- 10) 名古屋近代イギリス研究会  
 発表題目：「近代イギリスにおける技芸（art）の振興：「デザインの技術」教育の展開過程」  
 発表者：松坂雅子  
 日時：2018年10月27日  
 会場：名古屋市立大学（滝子キャンパス）
- (3) KCI ギャラリーでの展示品解説、及び関連レクチャーの実施
- 1) 年間を通じた来場者に対する作品解説
- 2) 京都市内の博物館等連携事業「第24回京都ミュージアムロード」に参加。  
 期間中來場された、市民・観光客に作品解説。  
 主催：京都市内博物館施設連絡協議会、京都市教育委員会  
 期間：2019年2月1日（金）～3月31日（日）
- (4) 学芸員資格取得志望学生のための博物館実習開講  
 会期：2018年8月20日（月）～8月24日（金）  
 受講者：公募審査による15名
- (5) キュレーター及びコンサバター、レストアラー（修復技術者）の育成
- 1) 展覧会、ギャラリー展示、講演会等の企画立案・実施
- 2) 収蔵品、新収集品の調査・研究

- 3) 現代ファッションの動向調査、資料収集
  - ① デザイナーのデータ（作品、経歴、特徴等）の収集整理
  - ② ファッション情報収集（パリその他のコレクション情報含む）
- 4) 博物館実習のカリキュラム作成、運営
- 5) 学会、シンポジウム、発表会、展覧会等への参加、視察研修
  - i. International Academic Projects 「Adhesives, Consolidants and Coatings」 参加  
会場：Hungarian National Gallery（ブダペスト）  
日時：2018年5月7日～8日  
出張者：佐藤萌  
内容：Velson Horie氏による接着剤のワークショップに参加し、保存修復分野で使用される天然・合成接着剤の組成・劣化挙動・使用事例について学んだ。
  - ii. ICOM コスチューム委員会への参加  
会場：Centraal Museum（ユトレヒト）  
日時：2018年6月10日（日）～15日（金）  
出張者：石関亮  
内容：ICOM（国際博物館会議）国際委員会のひとつ、コスチューム委員会の年次大会。次回2019年は京都にて3年に1度のICOM国際大会の開催が予定されており、コスチューム委員会の総会及び研究会も行われるため、大会の運営状況等の視察を行った。
  - iii. The Dressing the Early Modern Conference 「A Taste for the Exotic: Cross-Cultural Influences in Early Modern Dress and Textiles」 参加  
会場：Abegg-Stiftung（スイス リッギスベルク）  
日時：2018年9月27日（木）～28日（金）  
出張者：松坂雅子  
内容：若手研究者・キュレーターの交流を目的に、数年前より定期的に行われている国際会議 the Dressing the Early Modern Conference が、今回は出張者の専門と関連深い Abegg 財団「A Taste for the Exotic」展と関連付けて行われたため、展覧会視察と合わせて参加した。各機関で行われている染織品研究の多様なアプローチ方法と研究結果を聴講し、欧米の研究者・キュレーター達と意見交換を行った。
  - iv. 会議「Fashioned from nature: Designing a Sustainable Future」 参加  
会場：Victoria & Albert Museum（V&A）（ロンドン）  
日時：2018年10月5日（金）

出張者：松坂雅子

内容：V&A の 19 世紀のロンドンのファッションを主に専門とする V&A キュレーターが主催の展覧会「Fashioned from nature」展と関連会議に参加した。服飾のサステナビリティについて、歴史を繙いたうえで現代、未来のあり方について考察する手法を学んだ。

(6) 教育普及活動の実施

6. 国内外の博物館等と連携し、刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等の実施、これに基づく国際文化交流

(1) 展覧会の企画・出展協力

- 1) 米国巡回展「Kimono Refashioned」の企画及びカタログ編集
- 2) 特別展「ドレス・コード?—着る人たちのゲーム」展の企画
- 3) メトロポリタン美術館「Visitors to Versailles (1682-1789)」展への出展協力
- 4) 岐阜市歴史博物館「竹の造形、和紙の彩」展への出展協力
- 5) 福井市郷土歴史博物館「皇室と明治」展への出展協力
- 6) 東京都庭園美術館「岡上淑子」展への出展協力
- 7) 京都織物卸商業組合主催「The KIMONO Styled and Restyled—ファッションとしてのきもの 1300 年—」展へのマネキン貸出協力

(2) 海外美術館の服飾所蔵品に関する調査、情報交換

- 1) 20 世紀初頭の衣装の技法ならびに同時代のアートとの関連についての収蔵品調査  
日時・場所：a) 2018 年 8 月 31 日～9 月 1 日 ウィーン美術館、オーストリア応用美術館（ウィーン）  
b) 2018 年 9 月 4 日 ランバン本社（パリ）  
c) 2018 年 9 月 6 日 ガリエラ美術館（パリ）

出張者：筒井直子

内容：ウィーンの 2 館ではポール・ポワレ、ウィーン工房、エミーリエ・フレーゲに関する閲覧調査を実施、ランバン本社においては同社所蔵のデザイン画と KCI 所蔵作品との比較調査、ガリエラ美術館では

1920年代のシャネル作品における刺繍技法の調査を行った。

- 2) 18世紀英国のテキスタイル産業に関するデザイン史的研究のための西欧の美術館の収蔵品調査

日時・場所：a) 2018年9月25日～26日 Abegg Stiftung (スイス リッギスベルク)

b) 2018年10月2日～4日 Victoria & Albert Museum (ロンドン) ;

c) 2018年10月1日 Chertsey Museum (イギリス チャーツイー)

出張者：松坂雅子

内容：各機関の所蔵する18世紀イギリスの織物の調査を行った。Chertsey Museum では KCI の所蔵するドレスと同じ文様のドレスを所蔵しており、細部の比較のため当該のドレスの見学も行った。

- 3) 1920年代のシャネルと刺繍工房 kitmir の協業に関する収蔵品調査

日時・場所：2019年1月4日 メトロポリタン美術館

出張者：筒井直子

内容：メトロポリタン美術館が所蔵するシャネル作品のうち、刺繍工房の kitmir が関わったとされる衣装2点について閲覧調査した。

- (3) 時代マネキンの紹介

平成22年度に監修・開発した18世紀紳士用マネキンを含めて紹介・普及

以 上

処務の概要

1. 役員等に関する事項

2019年3月末現在役員等

役職	氏名	就任年月日	
理事長	塚本 能交	2018. 6. 25	(株)ワコールホールディングス 代表取締役会長
常務理事	石川 満良	2018. 6. 25	(公財)京都服飾文化研究財団
理事	秋田 正紀	2018. 6. 25	(株)松屋 代表取締役社長
理事	五十嵐 耕一	2018. 6. 25	(一財)桐仁会 理事長
理事	千 容子	2018. 6. 25	(一社)茶道裏千家淡交会 理事長
理事	中牟田 健一	2018. 6. 25	共栄興産株式会社顧問
理事	濱本 英輔	2018. 6. 25	元国税庁長官
理事	深井 晃子	2018. 6. 25	(公財)京都服飾文化研究財団 名誉キュレーター
理事	吉田 忠嗣	2018. 6. 25	京都織物卸商業組合 副理事長
監事	白井 弘	2018. 6. 25	公認会計士
監事	大林 剛郎	2018. 6. 25	(株)大林組 代表取締役会長

役職	氏名	就任年月日	
評議員	稲賀 繁美	2018. 6. 25	国際日本文化研究センター教授
評議員	岩城 見一	2017. 6. 23	京都国立近代美術館 元館長
評議員	逢坂 恵理子	2017. 6. 23	横浜美術館 館長
評議員	木下 直之	2017. 6. 23	東京大学大学院 教授 静岡県立美術館 館長
評議員	小池 一子	2017. 6. 23	武蔵野美術大学名誉教授 十和田市現代美術館 館長
評議員	建畠 哲	2017. 6. 23	多摩美術大学 学長 埼玉県立近代美術館 館長
評議員	芳賀 徹	2017. 6. 23	東京大学 名誉教授
評議員	長谷川 祐子	2017. 6. 23	東京都現代美術館 参事
評議員	三浦 卓也	2017. 6. 23	(株)ワコールヨーロッパ会長
評議員	吉田 憲司	2018. 6. 25	国立民族学博物館館長
評議員	若林 正哉	2017. 6. 23	(株)ワコールホールディングス 取締役副社長
評議員	鷺田 清一	2017. 6. 23	京都市立芸術大学 理事長・学長

## 1. 役員等の異動

- 1) 稲賀 繁美氏、吉田 憲司氏が2018年6月25日、評議員に就任されました。

## 2. 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

開会月日	議事事項	会議の結果
第 24 回理事会 2018. 6. 8	1) 2017 年度事業報告書、財務諸表（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記及び附属明細書）並びに財産目録、監査報告の件	承認可決
	2) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件	承認可決
	3) 評議員運営規則及び理事会運営規則の改定案	承認可決
第 25 回臨時理事会 2018. 6. 25	1) 代表理事及び執行理事選任の件	承認可決
第 26 回理事会 2019. 3. 16	1) 2018 年度事業計画及び収支予算書の件	承認可決
	2) 特定費用準備資金の保有に関わる申請の件	承認可決
	3) 規程の追加及び改定の件	承認可決

### (2) 評議員会

開会月日	議事事項	会議の結果
第 10 回評議員会 2018. 6. 25	1) 2017 年度事業報告書、財務諸表（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記及び附属明細書）並びに財産目録の件	承認可決
	2) 任期満了に伴う理事、監事選任の件	承認可決
	3) 評議員 2 名選任の件	承認可決
	4) 定款（別表・財産目録）変更の件	承認可決

### 3. 寄附金及び助成金に関する事項

#### (1) 寄附金

(単位:円)

寄附の目的・用途	寄附者	申込金額	種類	領収金額	受入月
一般正味財産 (公益目的事業及び 法人運営費用)	株式会社ワコール	110,000,000	現金	110,000,000	2018年4月
指定正味財産 (特定資産)	株式会社ワコール	4,000,000	現金	4,000,000	2018年10月
一般正味財産 (公益目的事業及び 法人運営費用)	株式会社ワコール	76,000,000	現金	76,000,000	2018年10月

合計 190,000,000円

#### (2) 助成金

(単位:円)

助成金対象事業	助成者	助成金額	種類	内容
笹川科学研究助成	公益財団法人 日本科学協会	320,000	現金	服飾文化財に用いられた プラスチックの同定及び 劣化状態の把握とその最 適な収蔵方法の提案
研究助成金	松下幸之助記念財団	500,000	現金	近代イギリスにおける 技芸(アート)と奢侈
科学研究費	独立行政法人 日本学術振興会	420,000	現金	科研費の間接経費分を 譲渡

合計 1,240,000円